

科目名		運用エンジニアリング			年度	2025			
英語表記		operations Engineering			学期	後期			
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル		評価方法	自己評価		
1	RPAツールの種類	RPAに関する知識	1 RPAの理解	RPAが何かを理解する		2			
			2 RPAの種類	さまざまなRPAの特徴を理解する					
			3 RPAの活用提案	どのようなことに活用できそうかを考える					
2	他のソフトウェアとの連携	RPAのインストールと設定	1 RPAのインストール	RPAを使用するための設定ができる		2			
			2 他のソフトウェアとの連携	他のソフトウェアを使用するためのアドイン設定					
			3 他のソフトウェアを操作	RPAツールから他のソフトウェアが操作できるか確認できる					
3	表計算ソフトの自動化（1）	表計算ソフトの自動化	1 範囲（1）	範囲を追加できる		2			
			2 範囲（2）	範囲を自動調整できる					
			3 オートフィル	オートフィルの自動設定ができる					
4	表計算ソフトの自動化（2）	表計算ソフトの自動化	1 範囲をコピー貼り付け	範囲をコピーし、貼り付けができる		2			
			2 列、行、シートを削除	指定のセルとシートを削除できる					
			3 CSVにエクスポート	CSVへのエクスポートができる					
5	表計算ソフトの自動化（3）	表計算ソフトの自動化	1 繰り返し	繰り返し処理で指定の操作ができる		2			
			2 グラフを挿入	グラフを挿入できる					
			3 VLOOKUP	VLOOKUPの機能を自動化できる					
6	文書作成ソフトの自動化（1）	文書作成ソフトの自動化	1 文書にハイパーリンクを追加	文書にハイパーリンクを追加できる		2			
			2 画像を追加	画像を文書作成ソフトに追加できる					
			3 テキストを追加	テキストを文書作成ソフトに追加できる					
7	文書作成ソフトの自動化（2）	文書作成ソフトの自動化	1 画像を置換	文書作成ソフト内の画像を置換できる		2			
			2 テキストを置換	文書作成ソフト内のテキストを置換できる					
			3 文書をPDFとして保存	文書をPDFとして保存することができる					
8	プレゼンテーションソフトの自動化（1）	プレゼンテーションソフトの自動化	1 スライドにテーブルを追加	プレゼンテーションソフトのスライドにテーブルを追加できる		2			
			2 スライドに画像/動画を追加	スライドに画像、動画を追加できる					
			3 新しいスライドを追加	新しいスライドを追加できる					
9	プレゼンテーションソフトの自動化（2）	プレゼンテーションソフトの自動化	1 スライドを削除	スライドを削除できる		2			
			2 スライドコンテンツの書式設定	スライドコンテンツの書式設定ができる					
			3 スライドに項目を張り付け	スライドに項目を張り付けることができる					
10	プレゼンテーションソフトの自動化（3）	プレゼンテーションソフトの自動化	1 プrezentation内のテキストを置換	Presentation内のテキストを置換		2			
			2 プrezentationのマクロを実行	Presentationのマクロを実行できる					
			3 名前を付けてプレゼンテーションをPDFとして保存	名前を付けてPresentationをPDFとして保存できる					
11	ファイル処理の自動化（1）	ファイル処理の自動化	1 文字列を追加書き込み	ファイル処理として文字列を追加書き込みできる		2			
			2 フォルダーを参照	フォルダーを参照できる					
			3 ファイルを圧縮（Zip）	ファイルを圧縮できる					
12	ファイル処理の自動化（2）	ファイル処理の自動化	1 ファイルを作成	ファイルを作成できる		2			
			2 ファイルをコピー	ファイルをコピーできる					
			3 ファイル、フォルダを削除	ファイルやフォルダを削除できる					
13	繰り返し	ルーチンタスクの自動化	1 繰り返し（1）	フォルダー内の各ファイルの基本的な操作		2			
			2 繰り返し（2）	フォルダー内の各ファイルの操作					
			3 繰り返し（3）	フォルダー内の各フォルダーの操作					
14	WEBスクレイピング	情報取得と整理	1 WEBスクレイピング	WEBサイトから欲しい情報を取得できる		2			
			2 WEBスクレイピング	WEBサイトから情報を取得し、テストに保存できる					
			3 表計算ソフトへ保存	WEBサイトから情報を取得し、表計算ソフトに保存できる					
15	RPAによる課題解決	課題解決	1 業務等の洗い出し	仕事や作業のフローを作成できる		2			
			2 課題の検討	注目した作業の課題を発見できる					
			3 RPA実装	課題をRPAにて解決できる					

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等